

報告事項としての取扱い

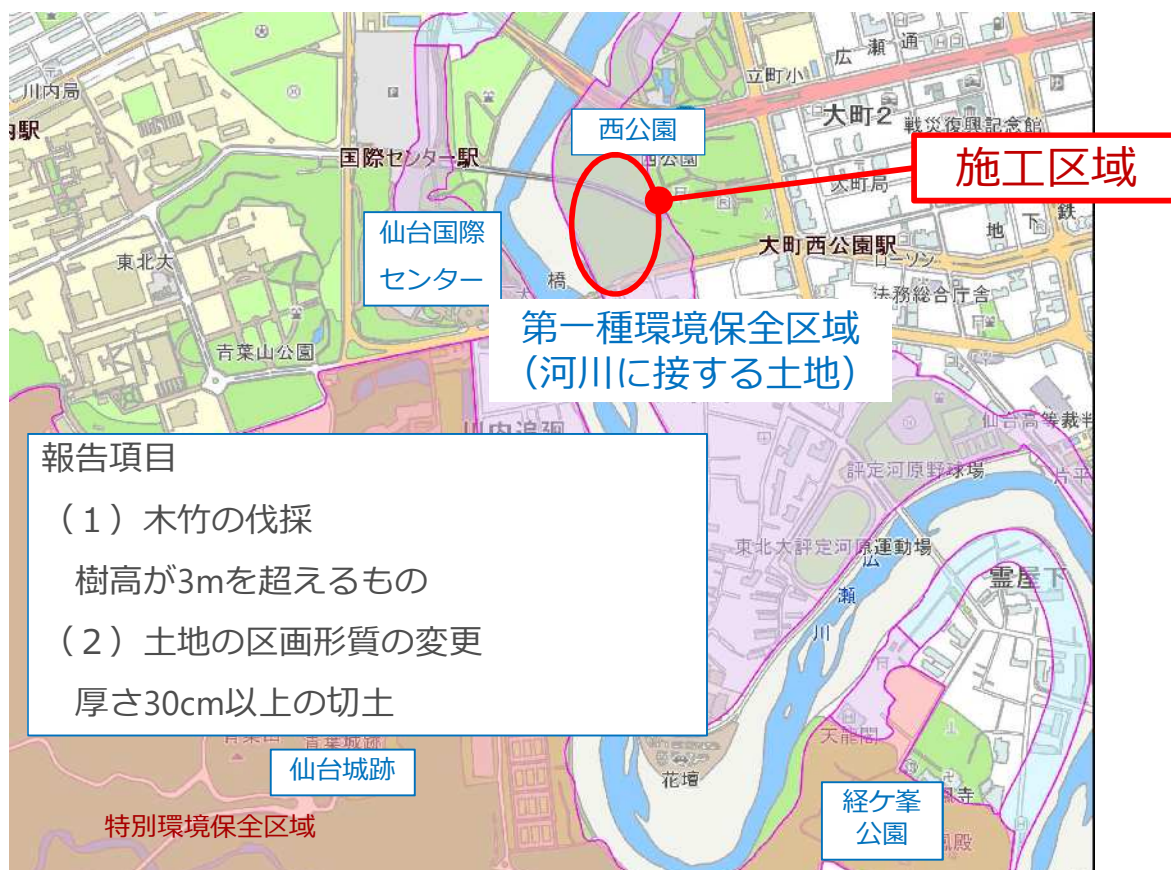
第一種環境保全区域内で行われる行為として報告を行うもの

※地方公共団体が行う行為

▶市長への通知（条例第9条第2項）



環境保全区域との位置及び報告項目



西公園（プール跡地）再整備事業について

1. 概要

西公園は平成19年からエリアごとに再整備を進めており、令和3年度からプール跡地の整備に着手する。（別図赤枠内）

公園整備にあたり、既存樹木の生育環境を確保し、見通しよく明るい雰囲気のある広場となるよう、樹木の整理を行い、造成を行うもの。

2. 樹木の整理の方針

- ヒマラヤスギ（杜の都の環境をつくる条例第19条第2項に定める保存樹林に指定）
→プール跡地に現存する75本のうち生育不良の3本・間引きが必要な3本を伐採する。
- その他樹木（アカマツ、ニワウルシなどの既存植栽）
→施設整備に影響するもの、病害・生育不良のもの、生育環境確保のため間引きが必要なものの、見通しや眺望確保の観点から伐採が必要なものについて整理する。

(1) 東西線北側の伐採木

- 園路等の整備範囲にかかる樹木：54本
 - 病害・生育不良の樹木：3本
 - 生育環境・見通しの確保のため間伐を行う樹木：48本
 - 駐車場脇の樹木：30本 →R5年度以降の駐車場整備にあわせて整理する
 - 移植を検討する樹木：4本
- R3年度に伐採

(2) 東西線南側の伐採木

- 園路等の整備範囲にかかる樹木：54本
 - 病害・生育不良の樹木：15本（うちヒマラヤスギ3本）
 - 生育環境・見通しの確保のため間伐が必要な樹木：70本
（うちヒマラヤスギ3本）
 - 移植を検討する樹木：17本
- R3年度に伐採

(3) 伐採後のイメージ・植栽計画

エリアごとの植栽計画により76本の新規樹木の植栽を予定している。

3. 敷地の造成について

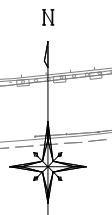
東西線プロムナードと周辺の間にある段差を処理するため、周囲の地盤を1m弱下げる。

4. 今後のスケジュール

- ～R4年度：基盤・園路整備
- R5.4-6：全国都市緑化フェア開催
- R5～：植栽・遊具等整備

伐木対象分類図（北側）

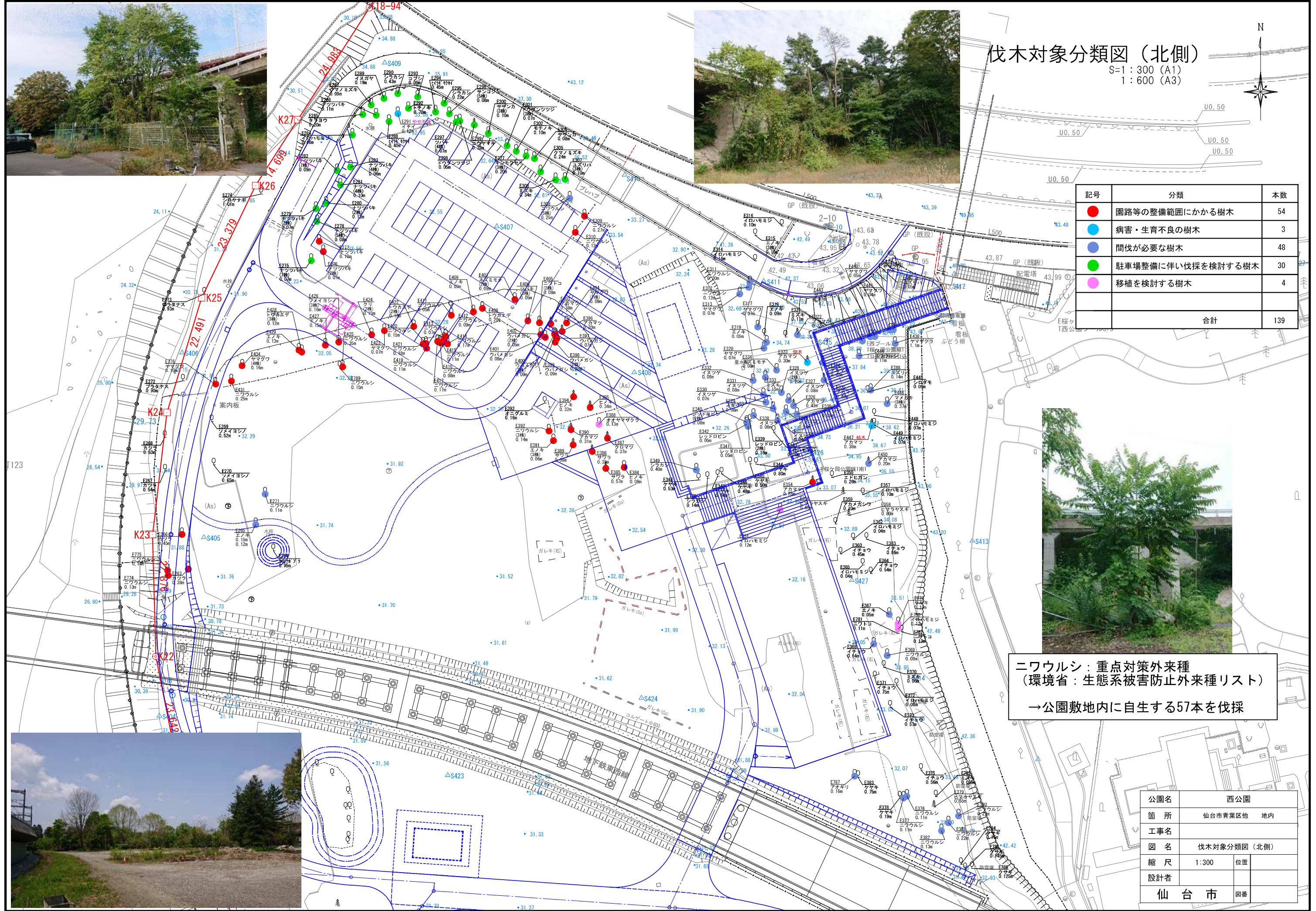
S=1:300 (A1)
1:600 (A3)



記号	分類	本数
● (Red)	園路等の整備範囲にかかる樹木	54
● (Blue)	病害・生育不良の樹木	3
● (Purple)	間伐が必要な樹木	48
● (Green)	駐車場整備に伴い伐採を検討する樹木	30
● (Pink)	移植を検討する樹木	4
合計		139

ニワウルシ：重点対策外来種
(環境省：生態系被害防止外来種リスト)
→公園敷地内に自生する57本を伐採

公園名	西公園	
箇所	仙台市青葉区他	地内
工事名		
図名	伐木対象分類図（北側）	
縮尺	1:300	位置
設計者		
仙台市		図番



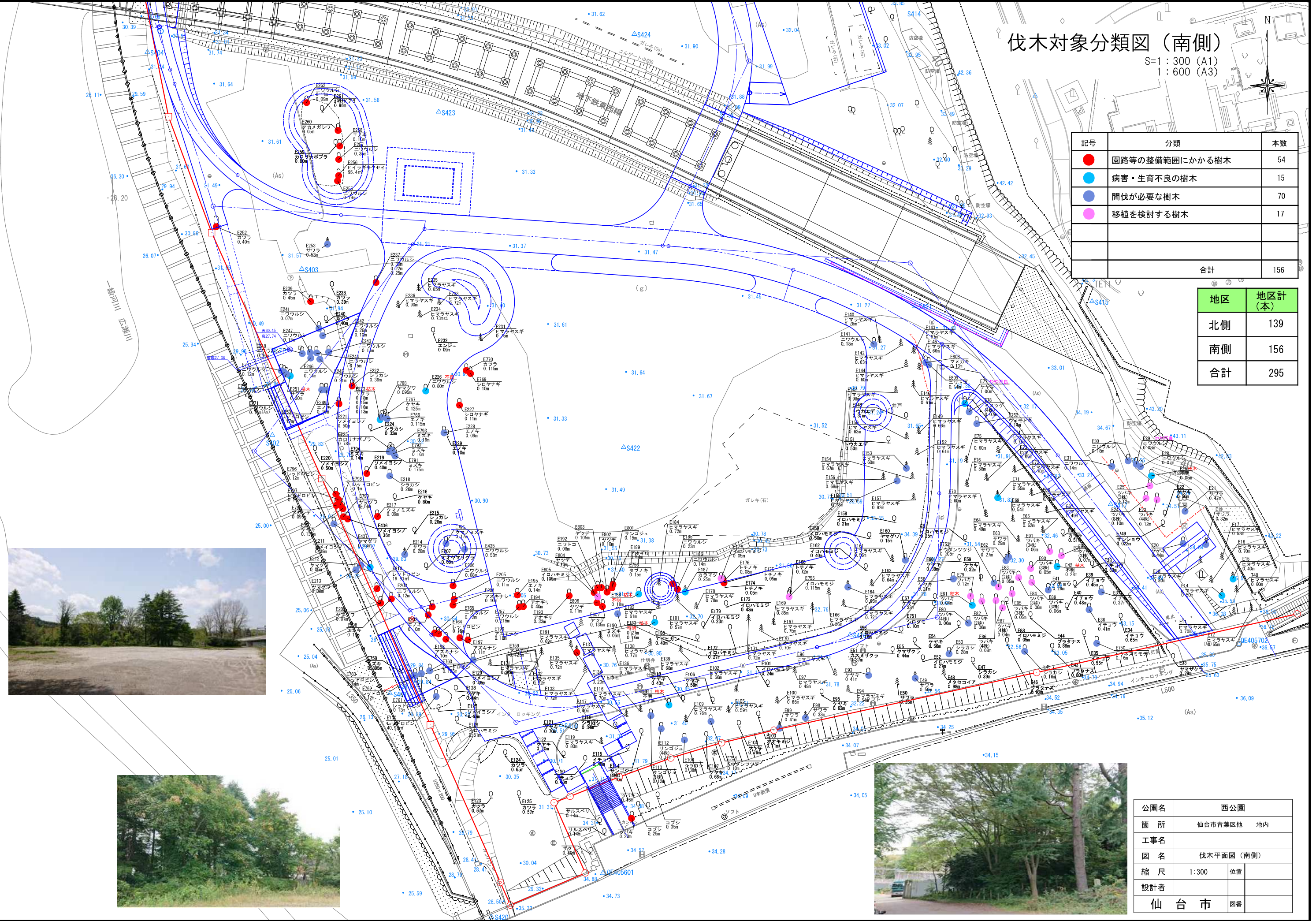
伐木対象分類図（南側）

S=1:300 (A1)
1:600 (A3)



記号	分類	本数
● (Red)	園路等の整備範囲にかかる樹木	54
● (Blue)	病害・生育不良の樹木	15
● (Purple)	間伐が必要な樹木	70
● (Pink)	移植を検討する樹木	17
合計		156

地区	地区計 (本)
北側	139
南側	156
合計	295

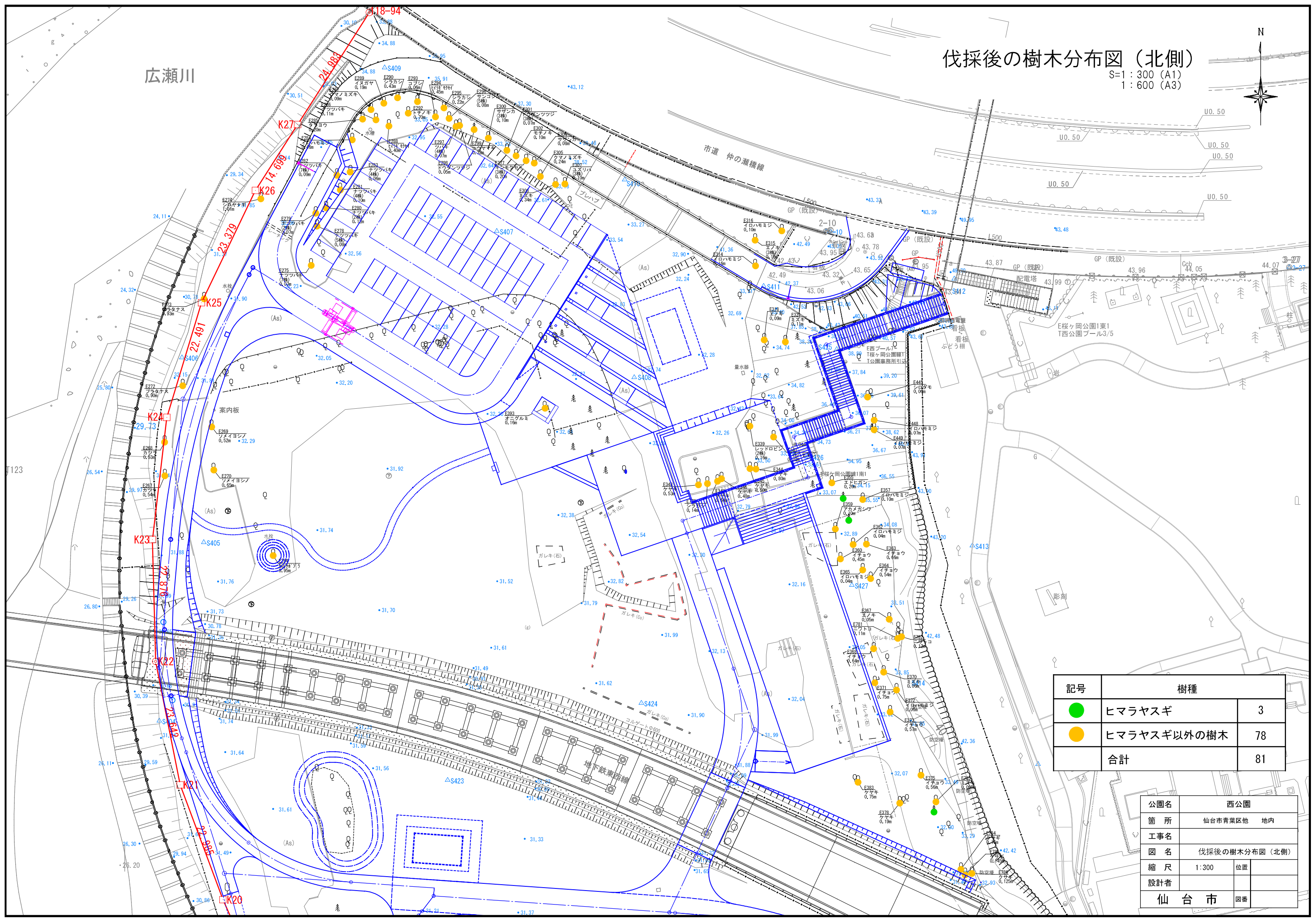


公園名	西公園	
箇所	仙台市青葉区	地内
工事名	伐木平面図（南側）	
図名	伐木平面図（南側）	
縮尺	1:300	位置
設計者		
仙台市	図番	

広瀬川

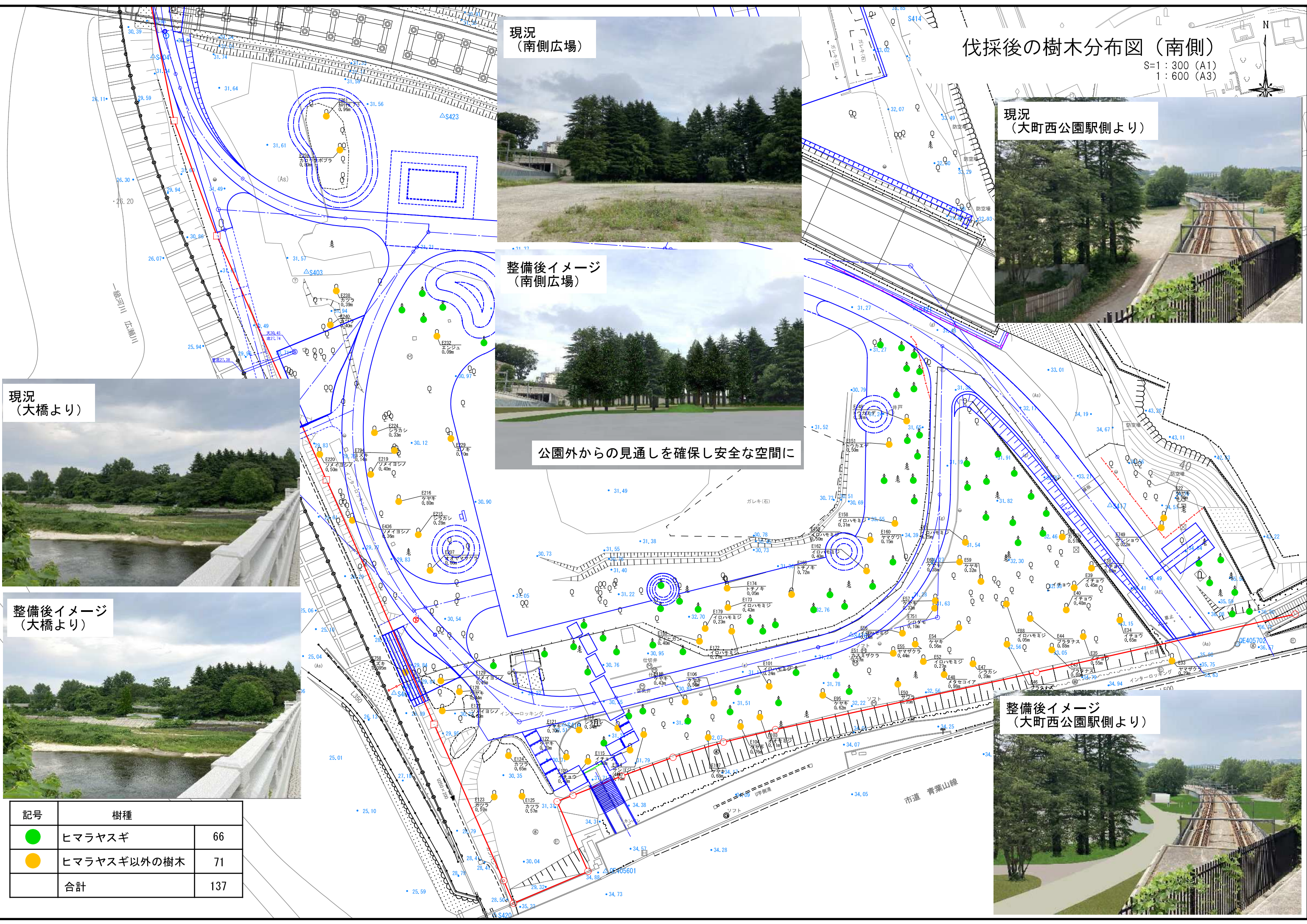
伐採後の樹木分布図（北側）

S=1:300 (A1)
1:600 (A3)



記号	樹種	
●	ヒマラヤスギ	3
●	ヒマラヤスギ以外の樹木	78
	合計	81

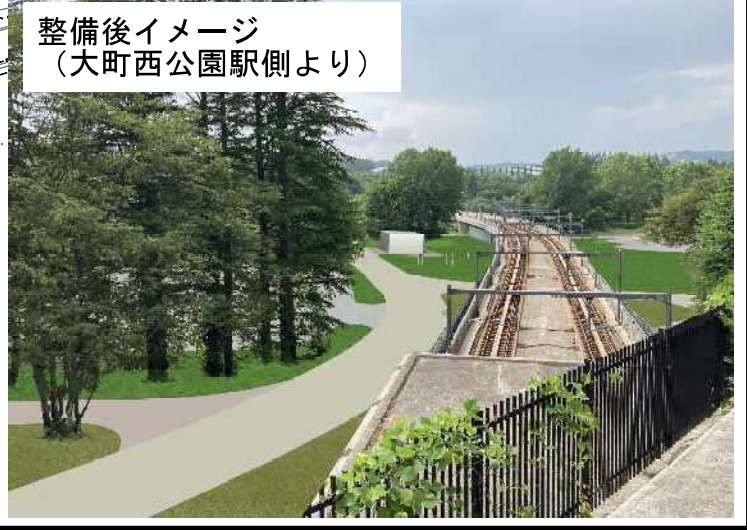
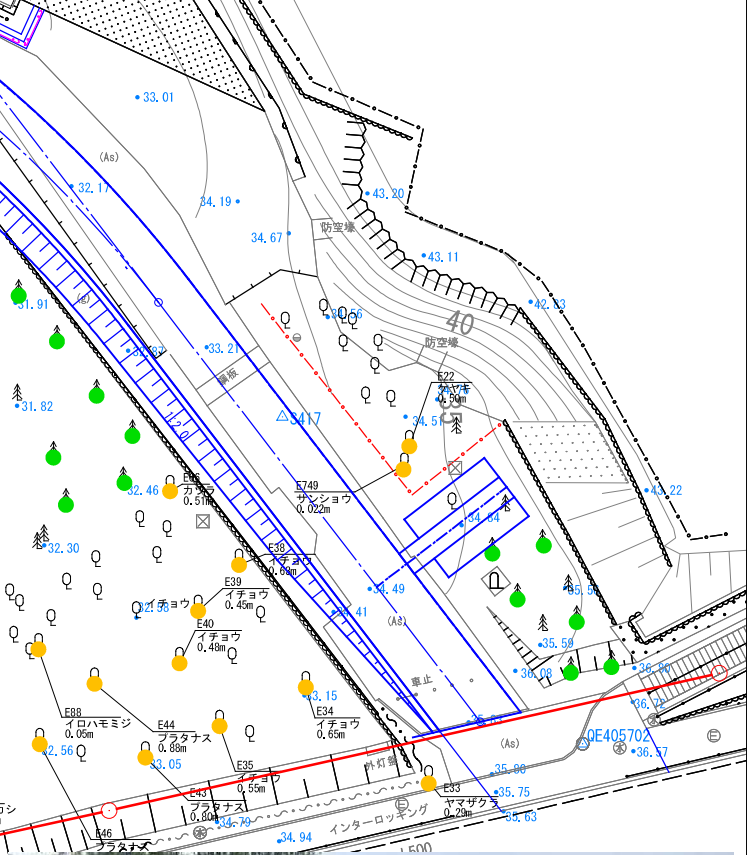
公園名	西公園	
箇所	仙台市青葉区他	地内
工事名		
図名	伐採後の樹木分布図（北側）	
縮尺	1:300	位置
設計者		
仙台市	図番	



公園外からの見通しを確保し安全な空間に

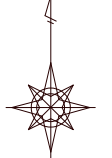
伐採後の樹木分布図 (南側)

S=1:300 (A1)
1:600 (A3)



記号	樹種	数
● (Green)	ヒマラヤスギ	66
● (Yellow)	ヒマラヤスギ以外の樹木	71
	合計	137

植栽検討図


 S=1:500 (A1)
 S=1:1000 (A3)

A: エントランスゾーン

- ・車利用者が最初に目にする空間として、また様々なアウトドア活動が楽しめる公園としての印象を与えることが出来るよう野趣味のある明るく華やかな空間とする。
- ・駐車場北側は、現況林を極力活かす。

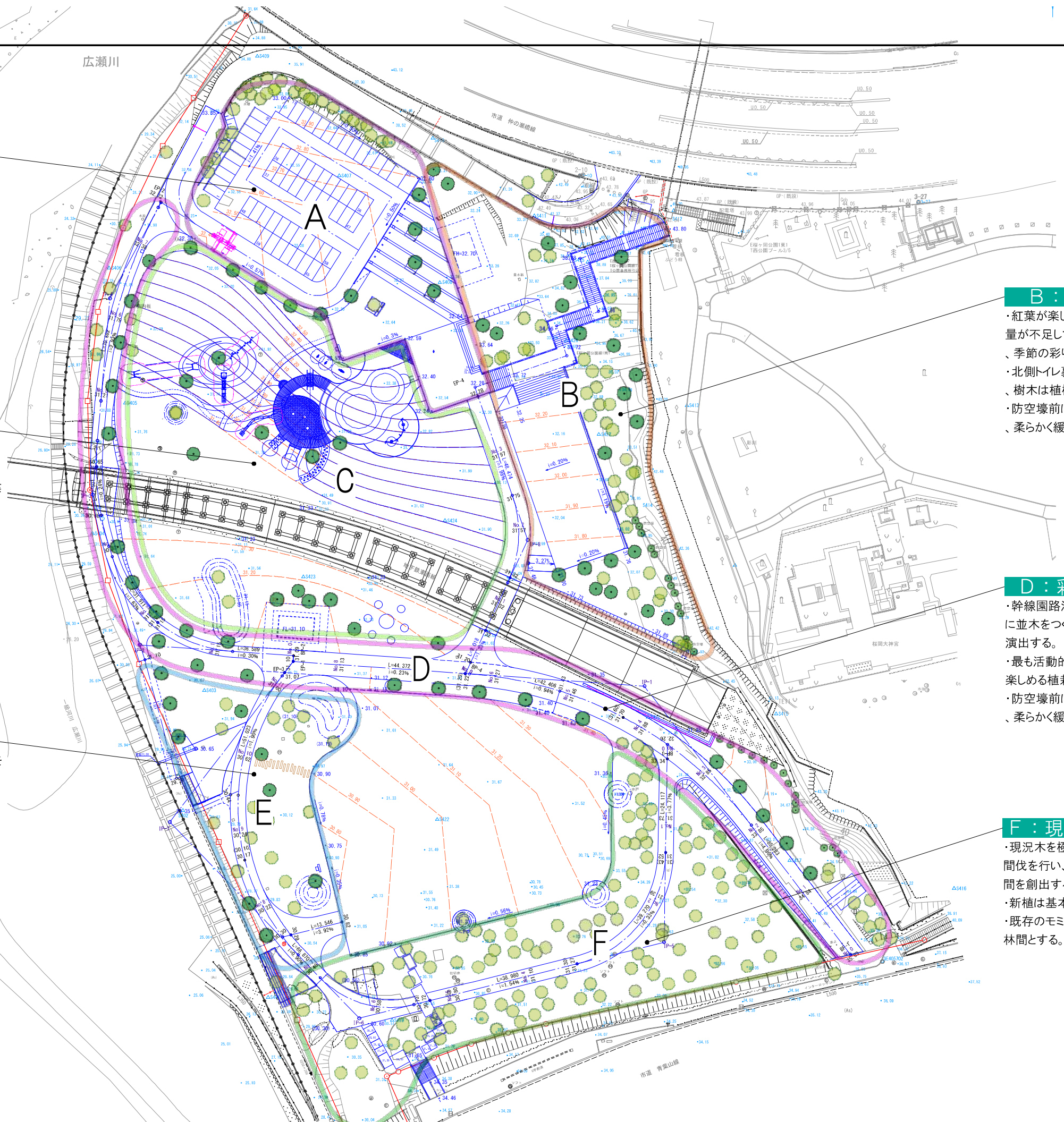
C: 大芝生ゾーン

- ・芝生をメインとした広場空間。
- ・遊びやイベント、日常レクリエーション活動の場として支障にならない位置へ緑陰樹を植栽する。
- ・子ども達のドングリ拾いや木の実採りが楽しめる樹木を選定する。

E: 水辺の緑陰ゾーン

- ・現況木の間伐を行い、広瀬川の眺望を確保する
- ・最適な植栽間隔をとり、川沿いの桜並木を継承する。
- ・緑陰として利用可能な現況木を残す。

 新植樹木
 現況木



B: 森の彩ゾーン

- ・紅葉が楽しめる現況林を保全しつつ、緑量が不足している部分に適宜捕植を行い、季節の彩りが感じられる空間とする。
- ・北側トイレ裏側は開けた空間とするため、樹木は植樹しない。
- ・防空壕前は、ツバキ等により緑化を行い、柔らかく緩衝する。

D: 彩の並木ゾーン

- ・幹線道路沿いに広めの間隔でリズムカルに並木をつくり、公園の導入部を軽やかに演出する。
- ・最も活動的な時期である初夏に彩りを楽しめる植栽とする。
- ・防空壕前は、ツバキ等により緑化を行い、柔らかく緩衝する。

F: 現況林保全ゾーン

- ・現況木を極力保全し活かしつつ、適宜間伐を行い、明るく気持ちの良い林床空間を創出する。
- ・新植は基本行わず、移植のみとする。
- ・既存のモミジを活かした彩りを感じられる林間とする。

切土範囲図（切土高30cm以上の範囲）

S=1 : 500 (A1)
1 : 1000 (A3)



切土 : 30cm以上

公園名	西公園	
箇所	仙台市青葉区他 地内	
工事名		
図名	切土範囲図（切土高30cm以上の範囲）	
縮尺	1 : 500	位置
設計者		
仙台市	図番	①

